

令和元年度 第3回 射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (議事録)

日時 令和2年3月2日(月)

午後2時30分～3時00分

会場 射水市役所 2階 201会議室

【議題】

(1) 令和元年度認知症総合支援事業実績と令和2年度事業計画(案)について

資料1(事務局説明)

【意見交換】

(ケースの相談支援について)

- ・訪問件数が少なくなっているのが気になる。
- ・今年度の自宅への訪問件数は少ないが、訪問を拒否気味のケースや、入院先や短期入所先など自宅以外で本人や家族と面談をしたケースもあった。
- ・訪問拒否者に対し、家族と面談し、医療や介護サービスに繋がるように支援をしているのなら相談件数としてよいと思う。今のチームでの支援を続けながら、認知症初期の段階で相談するなどの普及啓発活動もできればいいのではないかと思う。
- ・ケースは地域包括支援センターに相談があった中で、対応が困難と感じた者が多い。

(2) 認知機能検診事業(案)について

資料2(事務局説明)

(3) みまもりあいプロジェクト事業(案)について

資料3(事務局説明)

【意見交換】

(認知機能検診について)

- ・どのくらいの対象者が受診されるか不明であり、検診の方法も検討が必要と思われるため、まずは認知症初期集中支援チームに属する認知症サポート医のいる5つの医療機関で実施してみることになった。実施してみないとわからないと感じており、今後も検診を実施しながら、検討していく予定である。

(みまもりあいプロジェクト事業について)

- ・既存事業の登録者は約50人であり、1年目は、約75人の登録を見込んでいる。
- ・ステッカーは、高齢者の持ち物の目立つところに貼りたいが、本人が嫌がってステッカーを剥がす可能性がある。
- ・ステッカーの枚数は48枚と多いので、靴の中など、本人が剥がさないいろいろな場所に貼ると良いと思う。
- ・事業に登録された高齢者が、どこにステッカーを貼り、どのステッカーで発見できたかという統計をとってみてもよいのではないか。

令和元年度第3回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 令和2年3月2日(月)

午後2時30分～3時00分

会場 射水市役所 2階 201会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 令和元年度認知症総合支援事業実績と令和2年度事業計画(案)について(資料1)

(2) 認知機能検診事業(案)について (資料2)

(3) みまもりあいプロジェクト事業(案)について (資料3)

3 閉 会

令和元年度認知症総合支援事業実績と令和2年度事業計画(案)

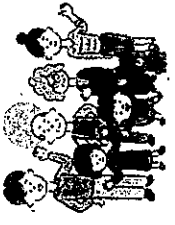
資料1

事業	令和元年度 市全体での事業実績	令和2年度 事業計画(案)	
		市全体での実施内容	包括圏域での実施内容
関係機関へのつなぎや連絡調整の支援	・射水市版認知症情報共有ツールの利用促進	・射水市版認知症情報共有ツールの利用促進	・圏域内の連携手順の確認 ・射水市版認知症情報共有ツールの利用促進
介護、医療等のネットワークの構築	・医師会との連携強化	・医師会との連携強化 ・認知機能検診事業の実施【資料2】	・圏域の医療機関(認知症サポート医)との連携強化 ・検診対象者への事業周知 ・検診受診者のうち要フォロー者への支援の実施
普及啓発活動	認知症サポーター養成の推進	・個人向け・市職員向け講座の継続 ・金融機関・図書館等への講座の周知 ・認知症サポーターステップアップ講座の継続	・認知症サポーター養成講座の充実 ・認知症キャラバン・メイトとの連携強化
	高齢者への普及啓発	・脳いきいき健康講座の継続	・地域ふれあいサロン・100歳体操等での出前講座の周知や認知症に関する啓発 ・脳いきいき健康講座の継続
	一般住民への普及啓発	・広報いみずによる啓発【別紙1】 ・認知症オレンジちゃんねるによる情報発信(認知症の初期症状と対応方法) ・街頭キャンペーン(小杉駅・アルプラザ小杉) ・普及啓発(中央図書館・イベント)【別紙2】 ・認知症啓発ポスターの原案の作成	・広報いみずによる啓発(認知機能検診・みまもりあい事業) ・オレンジちゃんねるによる情報発信 ・オレンジちゃんねるDVDの作成 ・街頭キャンペーン ・普及啓発(市内図書館・イベント) ・認知症啓発ポスターの印刷及び公共施設への配布
認知症ケアパスの普及	・認知症ケアパス 3版の発行	・認知症ケアパスの内容の充実(認知症の人やその家族の意見を踏まえ作成)	・認知症ケアパスの普及
地域の社会資源についての情報収集と活用	・認知症徘徊高齢者声かけ模擬訓練の実施 ・ささえ隊メイトの認知症に関する活動の協力依頼 ・包括圏域ごとのささえ隊メイト交流会の実施	・ささえ隊メイト研修会の開催 ・みまもりあいプロジェクト事業の実施【資料3】	・認知症徘徊高齢者声かけ模擬訓練の実施 ・認知症サポーター・キャラバンメイトの啓発活動等への参加促進 ・ささえ隊メイトの活動支援
認知症カフェの開催	・認知症カフェで本人や家族の思いを確認する。 ・認知症カフェ情報交換会の実施	・認知症カフェ活動支援 ・カフェでのピアサポート活動の実施支援	・認知症カフェでのピアサポート活動の実施 ・地域のカフェでの相談支援 ・個別相談対応と支援
認知症相談会の開催	・もの忘れ・認知症相談会の継続(病院・射水市民病院市民公開講座・在宅医療と介護を考える市民公開講座)	・もの忘れ・認知症相談会の継続 ・イベント等で実施	・圏域内拠点での認知症相談会開催 ・相談対応後の支援
認知症初期集中支援チームの活動	・認知症初期集中支援チーム員会議の開催 ・認知症初期集中支援チームでの個別支援【別紙3】 ・ケアマネジャーへの事業周知	・認知症初期集中支援チーム員会議の開催 ・認知症初期集中支援チームでの個別支援	・認知症初期や困難事例の個別相談対応と支援

※ 下線は新規事業

認知症とともに暮らそう

9月は認知症への理解を深める「世界アルツハイマー月間」です。射水市では認知症についての理解を深め、認知症の方とその家族を支えるためのイベント・講座を開催しています。誰もがつらい思いをしないためにあなたも認知症について考えてみませんか？



スタッフ2

学んだ知識を活かしたい！
ごさえ隊メイト募集中！

「ごさえ隊メイト」は、認知症ボーター養成講座を受講後、さらに認知症ボーターズトップアップ講座を受講され、認知症の方とその家族に寄り添い、地域で認知症に関する活動に携り取り組んでおられる方です。

認知症ボーター ズトップアップ講座

認知症に関する更なる知識を習得するための講座です。認知症の方やその家族を支える「ごさえ隊メイト」として活動してみませんか？

※参加費無料
日時 10月30日(金)午前9時30分～午後3時30分
場所 射水市本庁舎201・202会議室

対象者 認知症ボーター養成講座を受講し、地域で活動する意欲のある方

※過去に同講座を受講された方は対象外(定員50名超過)

- 内容
- ・認知症の基礎知識の復習
 - ・認知症の方や家族の体験談を通して認知症への理解を深める
 - ・地域での活動を考える

申込締切 10月16日

申込先 射水市 地域福祉課 ☎51-6625



射水市 世界アルツハイマー 月間 啓発イベント

〇図書館 企画展示

「みんなで理解しよう認知症」展
認知症に関する本の紹介、認知症の方とその家族のメッセージの展示などを行います。

期間 9月11日(水)～9月25日(水)

場所 中央図書館

〇啓発街頭キャンペーン

認知症地域支援推進員(※)による啓発チラシ等の配布を行います。

日時 9月24日(水) 午後4時30分～5時

場所 小笠原公園とアルプラザ小笠

射水市認知症地域支援推進員
オリオンシアター・アストロコート
1515-1516

まずは正しく知りたい！

個人向け 認知症ボーター養成講座

認知症についての知識や対応を学ぶ基礎講座です。

※参加費無料
日時 ①10月6日(日)午前10時～11時30分
②10月20日(日)午前10時～11時30分
※①または②のどちらか1日

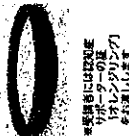
場所 射水市本庁舎201・202会議室

対象者 市内在住で、これまで受講したことがない方(定員50名程度)

内容

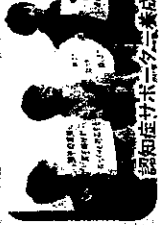
- ・認知症に関する基礎知識
- ・認知症とはどのような病気か
- ・認知症の方への接し方など

申込締切 9月25日(水)



地域はよう！ごさえ隊メイト活動の輪

認知症の方への接し方のポイントを紹介！



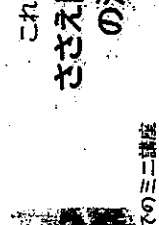
認知症の方や家族と交流！



空き時間に活動して役立っているのがうれしいです！



これまでのごさえ隊メイトの活動



これから...



認知症の方や家族と交流！



空き時間に活動して役立っているのがうれしいです！

ごさえ隊メイトの方の「こんな活動がしたい！」の声を広げていきます。

みんなの図書館

中央図書館 正力図書館 ☎52-5273
☎57-4646
新築図書館 ☎82-8410
下村図書館 ☎59-2303

新築図書館トップアップ

図書館のホトケトシ
新築図書が読めます

【一般書】
三國史への招待 三國史の会
女性のための読書旅行入門 桂谷あす美
日産じふさごころくし読書会 富田 佐允

40歳までの日産読書会
ヒトは生きるといけるのか 永藤 計

【小説】
権威の娘と私たち 新堂 冬樹
てんげんつづ 中島 尚
夏の騎士 野中 尚
ゆきあひる 赤神 諒

【児童書】
星にまぶさぬのころ 村上しほこ
いすのこのおぼろげな かん 洋

エッセイ
ふるまのまごころ 山平 聖子
ヒミツのめいだん 田島 征三
【郷土書】
大相撲朝乃山書 北谷 新書社

〇中央図書館市民ギャラリーの啓蒙

「認知症の日本不慮展」
併開催の本も展示します

期間 9月6日(日)

〇企画展示

「みんなで理解しよう認知症」展
期間 9月11日(水)～9月25日(水)

「世界アルツハイマー月間」
会場 中央図書館
地域福祉課 認知症とともに暮らそうの啓蒙活動と連携しての展示です。

〇推奨図書の展示

〇認知症
いざさらば時に備えて
〇読書会
きよのくに
会場 新築図書館
期間 9月11日(水)～9月25日(水)

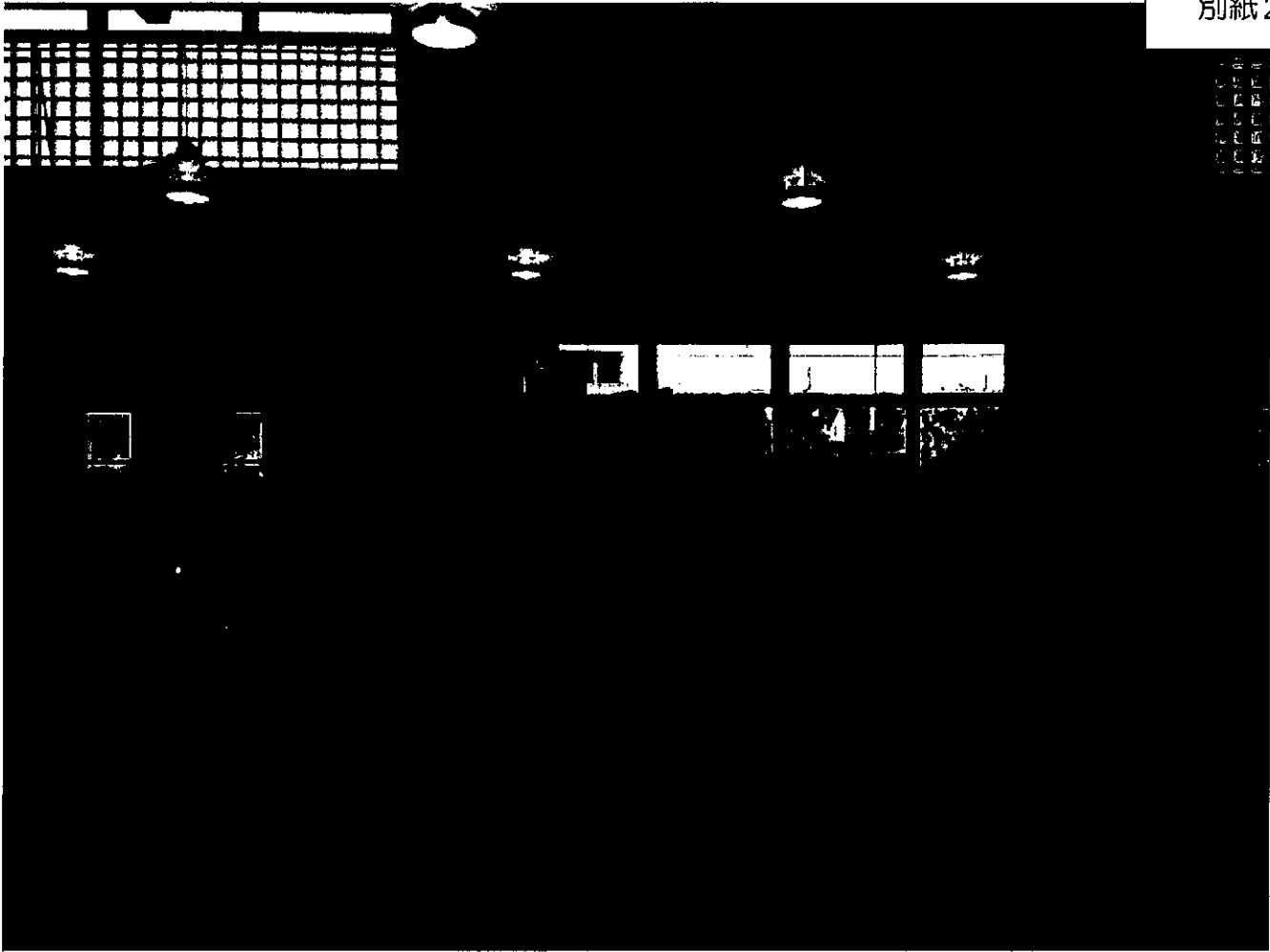
〇イベント

〇家族ふれあい読書会
日時 9月7日(土)午前11時
会場 新築図書館
対象者 ふれあいコーナー
内容 大塚基之助「こころ」
大塚基之助「こころ」歌、
大型絵本

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	

※蔵書室は休館日
全館休館日
9月30日(日)～10月7日(日)
開館時間 平日 9:30～18:30
土日祝 9:30～17:00



認知症初期集中支援チーム実績について

1 認知症に関する相談状況

(1) 地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数 (延べ件数)

地域包括支援センター	平成 29 年度 (H29. 4 月～H30. 3 月)	平成 30 年度 (H30. 4 月～H31. 3 月)	令和元年度 (H31. 4 月～R1. 12 月)
新湊西	268 件	251 件	225 件
新湊東	231 件	273 件	153 件
小杉・下	206 件	312 件	157 件
小杉南	131 件	264 件	180 件
大門・大島	296 件	320 件	213 件
計	1,132 件	1,420 件	928 件

(2) 地域福祉課への認知症に関する相談件数

	平成 29 年度 (H29. 6 月～H30. 3 月)		平成 30 年度 (H30. 4 月～H31. 3 月)		令和元年度 (H31. 4 月～R1. 12 月)	
	実人数	延件数	実人数	延件数	実人数	延件数
地域包括支援センター等から	32 人	44 件	45 人	78 件	40 人	63 件
住民から	23 人	23 件	54 人	54 件	36 人	36 件
計	55 人	67 件	99 人	132 件	76 人	99 件

2 認知症初期集中支援チームの相談状況 (R2. 2. 14 現在)

	新規相談者 (訪問)	支援対象者	支援対象外
平成 29 年度 (H29. 6 月～H30. 3 月)	10 人	7 人	3 人
平成 30 年度 (H30. 4 月～H31. 3 月)	11 人	5 人	6 人
令和元年度 (H31. 4 月～R1. 12 月)	9 人	6 人	3 人

3 認知症初期集中支援チームの実施状況 (R2. 2. 14 現在)

	支援対象者			訪問 延件数	チーム員 会議数	支援 終了者
	新規	継続	計			
平成 29 年度 (H29. 6 月～H30. 3 月)	7 人	—	7 人	45 件	9 回	2 人
平成 30 年度 (H30. 4 月～H31. 3 月)	5 人	5 人	10 人	40 件	13 回	6 人
令和元年度 (H31. 4 月～R1. 12 月)	6 人	4 人	10 人	18 件	9 回	7 人

認知機能検診事業(案)

1 目的

軽度認知障害(MCI)は、認知症の予備群と言われ、そのまま放置すると5年で50%近くが認知症に進行するが、早期に適切な対応を行うことで10~40%は認知機能を元の状態に戻すことができると言われている。

・MCIの疑いのある者を早期に発見し、MCIの段階で適切な対応を行うことで、認知症の重症化を予防することを目的に、認知機能検診(血液検査)を実施する。

2 対象者

検診実施日に射水市に住所を有する第1号被保険者で、もの忘れに不安のある者。(ただし、認知症の診断や既に治療を受けている者及び介護認定を受けている者を除く)

3 実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

4 検診機関

	医療機関名	住所	電話番号
1	矢野神経内科医院	本町1-13-1	82-5150
2	赤江クリニック	堀岡310	86-1420
3	たかはし内科医院	三ヶ1028	55-5522
4	北林クリニック	戸破1704-1	57-0008
5	真生会富山病院	下若89-10	52-5515

5 受診者自己負担金 無料

6 検診内容 (別紙フローチャート参照)

上記の医療機関において、下記の検査を1人につき年度1回を限度に実施する。

- (1) 問診(MCIスクリーニング検査の必要性を判断)
- (2) MCIスクリーニング検査(血液検査)
- (3) 結果説明

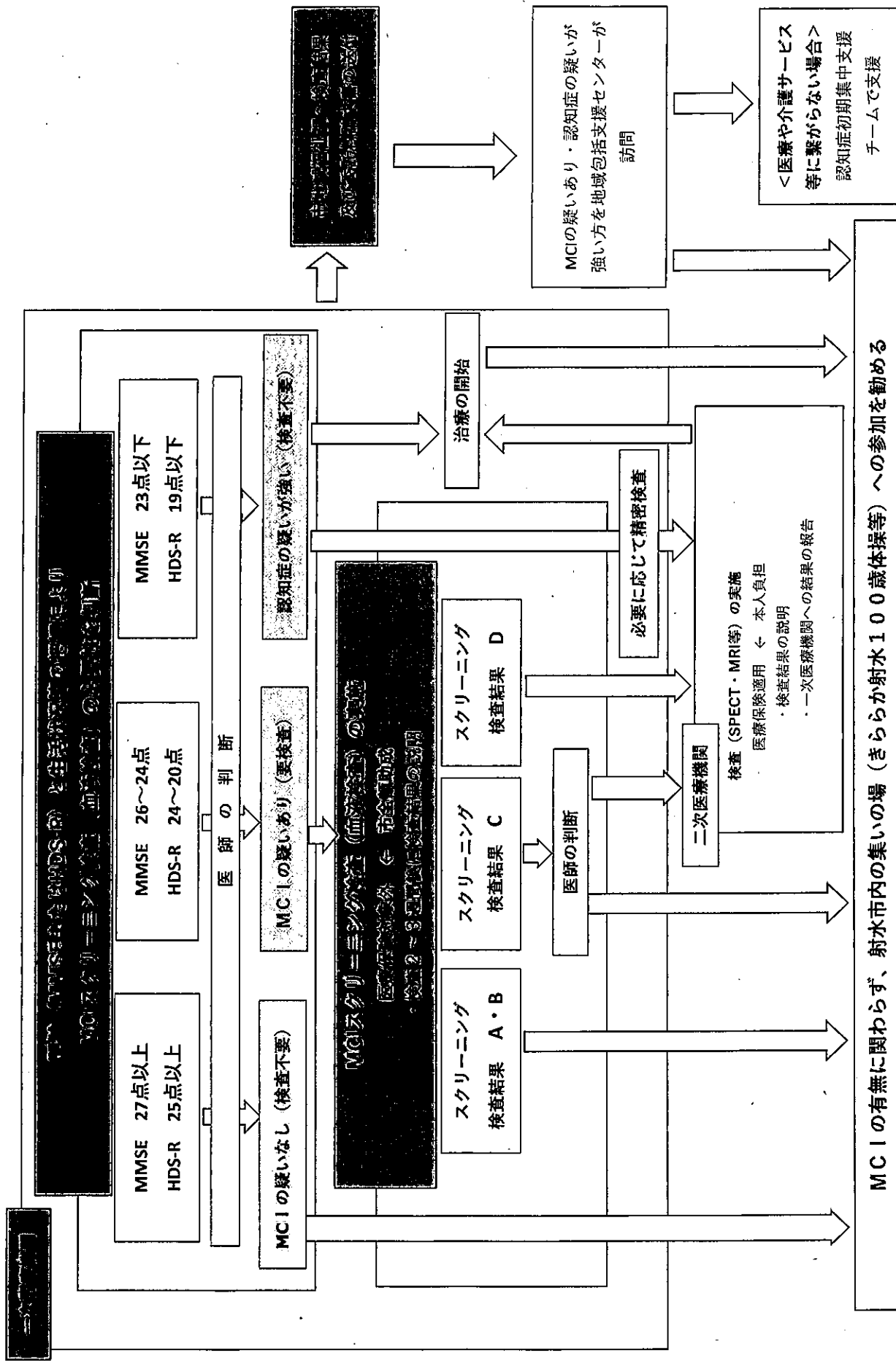
7 周知方法

- ・広報いみずやケーブルテレビ等による周知。
- ・出前講座等で検診の案内文を配布し周知を図る。

8 事後管理

- (1) 検診結果は、射水市がデータに登録、管理する。
- (2) MCIスクリーニング検査の結果が「MCIのリスクが高い」者及び「認知症の疑いが強い」者に対して、圏域の地域包括支援センターが自宅を訪問し状況の確認等の支援を行う。

認知機能検診事業 (MCIスクリーニング検査) フローチャート (案)



みまもりあいプロジェクト事業

1 現行事業の概要

「認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤル事業」は認知症高齢者が行方不明になった時に家族が専用ダイヤルに通報することにより、協力機関（介護支援事業所、スーパー等）へメール発信し、可能な範囲で搜索、発見、通報、保護を行うものである。

2 事業を見直す理由

現行事業では、事業所端末等へ行方不明情報がメール発信されるため、開業時間でないと確認できない等、実効性が乏しく、また、専用システムの維持等のコストがかかり費用対効果が低い。

このため、搜索に協力していただける個人がスマートフォンを使用した搜索アプリを利用するシステムに変更し、搜索協力者の拡大と即時的な対応を図る。

3 新規事業内容（別紙）

4 利用者自己負担金 無料

5 実施時期

令和2年4月1日から実施

（現行システムは6月末までとし、3か月の移行期間を設ける。）

6 その他

協力者は、現在「認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤル事業」に登録している事業所や認知症サポーター養成講座受講者等に広く依頼する。